

歷史的景觀都市協議會

2025

多賀城市 多賀城南門

歴史的景観都市協議会とは

歴史的景観都市協議会は、「風趣ある歴史的、伝統的な市街地景観の保全を図っている都市相互の交流を深め、共通の課題について調査し、研究し、協議し、もって各歴史的景観都市の施策の推進に資する」ことを目的とし、加盟都市による総会等を通して、歴史的景観行政の現状と課題についての情報交換等を行うとともに、国や関係機関への要望活動を行っています。



多賀城市（第51回総会開催都市）
多賀城跡



松本市（第52回総会開催都市）
中町通り



浜松市（令和7年度代表幹事都市）
浜松城跡

歴史的景観都市協議会の歩み

- 昭和48年 歴史的景観事務連絡協議会発足
- 昭和48年 第1回総会 京都市大会
- 昭和49年 町並み保存に関する国への要望書
- 昭和50年 文化財保護法改正
伝統的建造物群保存地区制度創設
- 昭和53年 歴史的景観都市連絡協議会に名称変更
- 平成9年 歴史的景観都市協議会に名称変更
- 平成16年 景観法施行
- 平成20年 歴史まちづくり法施行
- 平成30年 歴史まちづくり法10周年記念シンポジウム開催
- 令和5年 第50回総会 小田原市大会（記念大会）

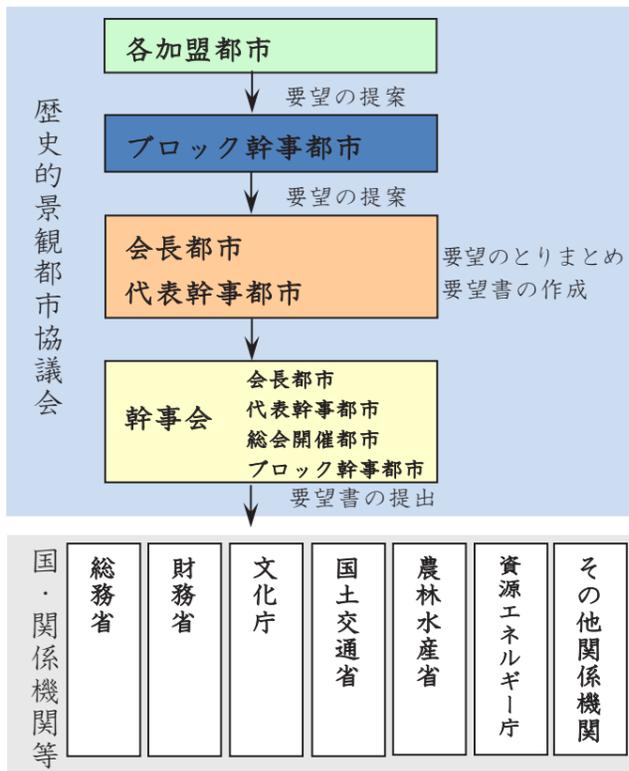
歴史的景観都市協議会のすすめ

歴史的都市といえども、その相貌は皆同じではない。昭和50年、13の歴史的景観を有した都市が一九となって国を動かし、現在の伝統的建造物群保存地区の制度化にこぎつけた。文化庁が動いたのは、13都市が望むことが特殊解ではなく、全国に敷衍できる一般解となることを見込んだからであろう。それから30有余年が経過して、景観法が施行された。風格ある国土の形成と美しく活力ある地域社会の形成を目的とする国法が制定されたことは、景観行政の歴史において画期的な出来事といえよう。そして、平成20年、歴史まちづくり法が施行され、まちづくり行政と文化財行政の連携により、歴史的風致を後世に継承するまちづくりを支援する制度が設けられた。景観行政は、景観規制だけで済まされるものではない。誘導施策や補助施策も必要となる。その市町村の取組を幅広く支援するのが、この制度であるといえよう。近年の激甚化・多発する自然災害等により、多くの人命が失われ、歴史的な町並みも被害を受けてきた。さらに、今日も長引く物価や地価の高騰が歴史まちづくり活動にも影響を与えており、われわれ歴史的景観都市もまた対応に苦慮している。そのとき力になるのは、協議会加盟都市のノウハウはなかろうか。多彩な都市が集まるこの協議会であればこそ、相談や参考にする事例など様々な情報を入手できるはずである。さらに、それぞれの都市の課題やニーズに即した制度づくりに向けた要望活動の重要性は計り知れない。これらの理由から、景観形成を目指す多くの市町村が、この協議会に集うことを願うものである。

国への要望活動と景観行政の沿革

歴史的景観都市協議会の要望書(抜粋)	景観行政の沿革
昭和48年 町並み保全に関する要望 文化財保護法をすみやかに改正し、町並み保存事業を国の制度として位置づけること	昭和50年 文化財保護法の改正 伝統的建造物群保存地区制度の創設
平成5年 伝統的建造物群保存地区にかかる要望 伝統的建造物群保存地区内の全建造物及び土地への固定資産税並びに相続税の優遇措置の実施	平成8年 文化財保護法の改正 登録文化財制度の創設
平成16年 歴史的景観整備に関する国への要望 景観重要建造物の修理及び補助に対する助成制度創設 景観重要建造物及びその敷地の買取りにあたっての助成制度の創設	平成10年 自治省通達 「伝統的建造物の敷地にかかる固定資産税について、市町村が2分の1以内を適宜軽減、また伝統的建造物以外の建築物等の敷地にかかる固定資産税についても適宜軽減」
平成19年 歴史的景観整備に関する国への要望 景観重要建造物の固定資産税並びに相続税の優遇措置の実施	平成16年 景観法施行
平成21年 歴史的景観整備に関する国への要望 歴史的風致維持向上計画の運用及び歴史的環境形成総合支援事業、景観形成総合支援事業の拡充	平成19年 重要伝統的建造物群保存地区事業の耐震に対する助成制度の創設 景観形成総合支援事業による補助制度創設
平成30年 歴史的景観整備に関する国への緊急要望 歴史まちづくり法に基づく認定都市に対する財政的支援の継続及び歴史的建造物に対する税控除の拡充	平成20年 歴史まちづくり法(地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律)施行
令和2年 歴史的景観整備に関する国への緊急要望 歴史的建造物に対する財政支援や税制控除 コロナ禍における歴史まちづくりへの支援等	平成28年 国税庁質疑応答事例 相続税算定において景観重要建造物等とその敷地の評価額を30%控除する旨の取扱い
令和5年 歴史的景観整備に関する国への緊急要望 歴史的建造物に対する財政支援や税制控除 歴史的風致維持向上計画の有無によらない支援等の拡充	令和元年 都市再生整備計画事業における国費嵩上げ措置の延長 歴史的観光資源高質化支援事業による補助制度創設
令和7年 歴史的景観整備に関する国への緊急要望 歴史的建造物に対する財政支援や税制控除	

国への要望活動の流れ



歴史まちづくり法の活用に向けて

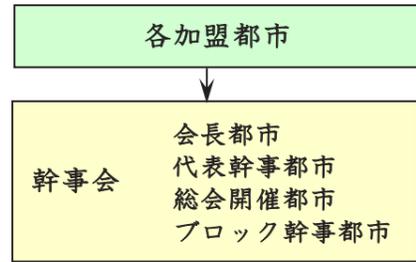
歴史的景観都市協議会は、昭和48年発足以来、永い年月を掛け、歴史的景観の保全を図るために調査・研究・要望などの取組を行ってきました。これまでも、古都保存法、景観法などが施行され、各都市の景観行政の推進が図られてきましたが、歴史的な資産を活用したまちづくりへの積極的な支援措置がないことなど限界がありました。平成20年に制定された歴史まちづくり法は、歴史的風致を維持・向上させ後世に継承する取組について支援制度を設けており、歴史的景観の保全と、商業や地場産業を活かした町並みの再生、創造に繋がるものとして、歴史的景観の保全を掲げる都市を積極的に支援する新たなツールとなっています。

歴史的風致とは

地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境

加盟都市の紹介

歴史的景観都市協議会には、現在全国6ブロック46都市が加盟しています(令和7年10月時点)。毎年、総会を開催するブロックに代表幹事都市、総会開催都市、各ブロックにブロック幹事都市、会長都市である京都市を加えた役員都市で幹事会を構成し、協議会を運営しています。



加盟都市分布図

(令和7年10月時点)

東北ブロック

- 1. 仙北市
- 2. 鶴岡市
- 3. 多賀城市
- 4. 国見町
- 5. 桑折町
- 6. 磐梯町
- 7. 白河市
- 8. 会津若松市

関東・北陸ブロック

- 9. 桜川市
- 10. 甘楽町
- 11. 川越市
- 12. 横浜市
- 13. 鎌倉市
- 14. 小田原市
- 15. 村上市
- 16. 佐渡市
- 17. 金沢市

中部ブロック

- 18. 長野市
- 19. 千曲市
- 20. 松本市
- 21. 南木曾町
- 22. 郡上市
- 23. 美濃市
- 24. 浜松市
- 25. 犬山市
- 26. 名古屋市

近畿ブロック

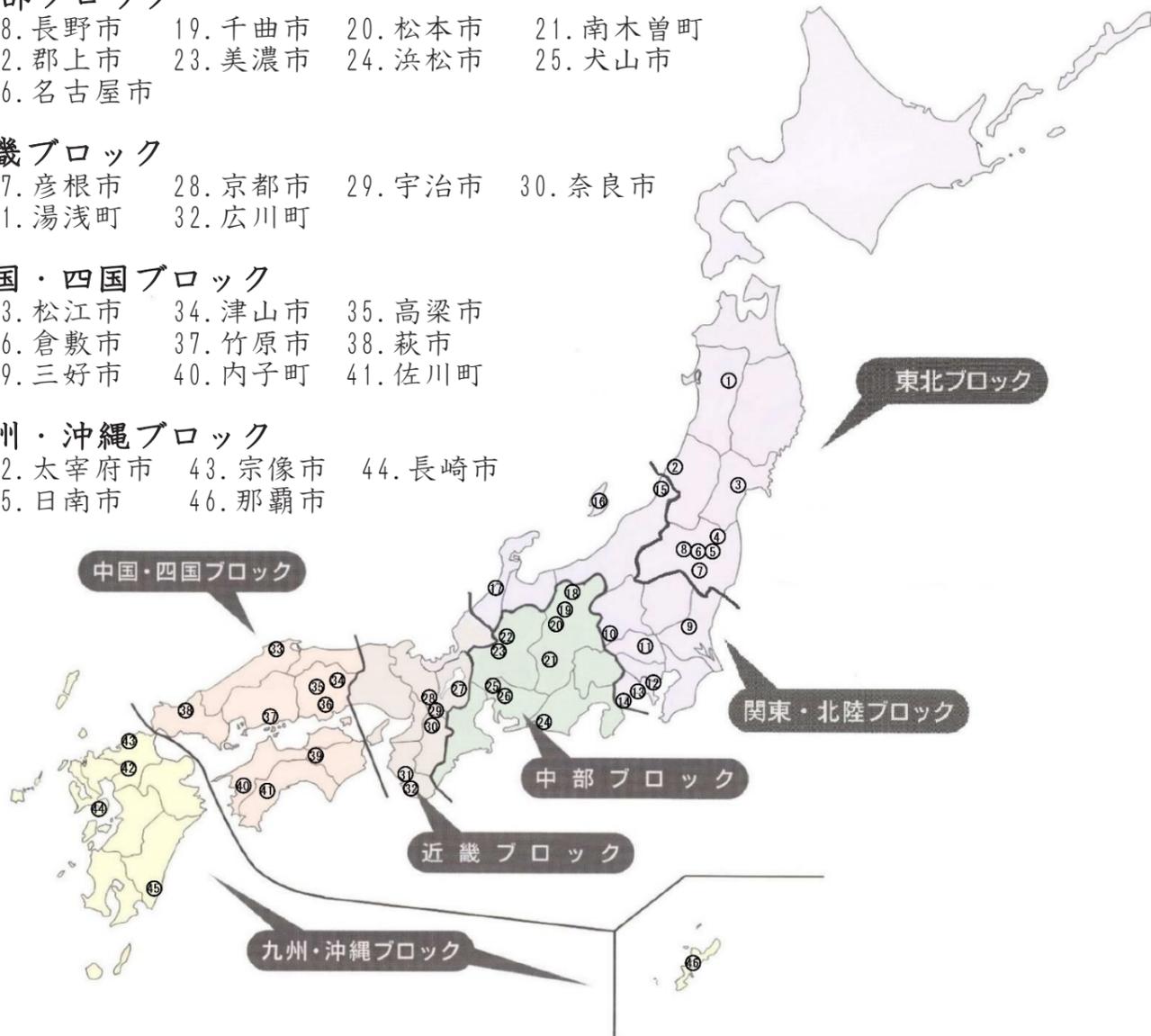
- 27. 彦根市
- 28. 京都市
- 29. 宇治市
- 30. 奈良市
- 31. 湯浅町
- 32. 広川町

中国・四国ブロック

- 33. 松江市
- 34. 津山市
- 35. 高梁市
- 36. 倉敷市
- 37. 竹原市
- 38. 萩市
- 39. 三好市
- 40. 内子町
- 41. 佐川町

九州・沖縄ブロック

- 42. 太宰府市
- 43. 宗像市
- 44. 長崎市
- 45. 日南市
- 46. 那覇市



東北ブロック

仙北市

1620年、城下町が築かれた当時の道幅を持つ角館の武家町は、黒板塀が連なる武家屋敷がモミヤカシワの巨木に抱かれた深い木立の中にあります。大きな戦の舞台にもならず、戊辰戦争を乗り越え、江戸時代の空間が残ったことは「みちのくの奇跡」といえます。



[連絡先]
仙北市観光文化スポーツ部
文化財課
TEL 0187-43-3384
URL <https://www.city.semboku.akita.jp/>
春の武家屋敷通り

鶴岡市

鶴岡市は、江戸時代庄内藩主酒井家が築いた城下町と近代建築物が融合した市中心部の鶴ヶ岡城下町地区、出羽三山開山1400年の歴史を持つ山岳信仰地である羽黒手向地区、旧庄内藩士が刀を鋏に持ち替え開墾した羽黒松ヶ岡地区、3つの重点区域があり、固有の歴史的な建造物や街なみが残り、人々の営みが今も継承されています。



[連絡先]
鶴岡市建設部都市計画課
TEL 0235-35-1315
URL <https://www.city.tsuruoka.lg.jp/>
史跡 旧致道館

多賀城市

多賀城市では、特別史跡である多賀城跡附寺跡において長年にわたる発掘調査結果等を踏まえ、多賀城最盛期であった第Ⅱ期(奈良時代、762年~780年)の多賀城南門を復元し、本年4月に一般公開が始まりました。今後は、これらの歴史文化資源を活かして多様な主体との連携によるまちづくりを進めます。



[連絡先]
多賀城市都市産業部
都市計画課
TEL 022-368-1141
URL <https://www.city.tagajo.miyagi.jp>
復元された多賀城南門

国見町

国見町は、源頼朝と奥州藤原氏が対峙し、時代の転換点となった1189年の奥州合戦で、藤原氏が築いた3.2kmの防御陣地(国史跡「阿津賀志山防塁」)が所在します。令和3年には、一部を「あつかし千年公園」として整備し、歴史まちづくりの拠点となっています。



[連絡先]
国見町企画調整課
TEL 024-585-2967
URL <https://www.town.kunimi.fukushima.jp>
あつかし千年公園に咲く中尊寺蓮と史跡

桑折町

桑折町は、戦国大名として著名な伊達氏の初代朝宗の墓所等が残される「伊達氏発祥の地」です。戦国時代に14代植宗が築いた桑折西山城跡は、本丸の中心建物の間取りの復元や、枡形状虎口の整備など、戦国時代の山城の整備が進められ、令和3年10月には、「全国山城サミット桑折大会」が開催されました。



[連絡先]
桑折町教育委員会教育文化課
TEL 024-582-2403
URL <https://www.town.koori.fukushima.jp/>
桑折西山城跡本丸

磐梯町

磐梯町に春の訪れを告げる磐梯神社の巫女舞は、江戸初期から続く奉納行事です。明治期に途絶えましたが、昭和49年に80年の空白を経て再開しました。神と人を結ぶ巫女は、清浄無垢なるが故に地元の娘が選ばれ、春分の日の舞台を演出しています。



[連絡先]
磐梯町行政経営課
TEL 0242-74-1211
URL <https://www.town.bandai.fukushima.jp/>
巫女舞「弓の舞」

白河市

白河市は、近世初頭に小峰城とその城下町が整備され、カギ型等の歴史的街路や商家・蔵等の歴史的建造物が集積し、往時の面影を伝えています。それらを舞台に白河提灯まつりや白河だるま市等の祭礼・行事が開催され、良好な歴史的風致を形成しています。



[連絡先]
白河市建設部
まちづくり推進課
TEL 0248-22-1111
URL <https://www.city.shirakawa.fukushima.jp>
白河提灯まつり

会津若松市

鶴ヶ岡の城下は、戦国大名の蒲生氏郷が行った大規模なまち割りにより発展し、会津五街道をはじめとする古くからの通りでは、現在も初市である十日市等の伝統行事が行われています。毎年春の彼岸には、これらの通り沿いに残る歴史的建造物を背景として、笛や太鼓の快い調べとともに彼岸獅子の舞が各所で行われています。



[連絡先]
会津若松市建設部
都市計画課
TEL 0242-39-1261
URL <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp>
東軍墓地(阿弥陀寺)で舞を披露する彼岸獅子

関東・北陸ブロック

桜川市

真壁の町は戦国時代に真壁城の城下町として成立し、江戸時代には木綿商いを中心に発展しました。幅広い年代・様式の建物が並び、数々の門が趣を添えています。酒・醤油醸造や梵鐘製造などの産業が息づき、祭礼は伝統的な世話人制度により運営されています。



[連絡先]
桜川市建設部都市整備課
TEL 0296-58-5111
URL <http://www.city.sakuragawa.lg.jp/>
真壁の町並みを進む祇園祭の神輿行列

川越市

川越祭りは、城下町川越の総鎮守氷川神社の例大祭を起源とし、江戸天下祭の様式を今に伝える貴重な都市型祭礼として 370 年の時を越えて守り発展してきました。町方、在方、職方が一体となり、蔵造りの町並みに絢爛豪華な山車が曳行されます。



[連絡先]
川越市都市計画部都市景観課
TEL 049-224-5961
URL <https://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
川越祭り

鎌倉市

古都鎌倉では明治時代から大正時代にかけて別荘文化が育まれました。鎌倉文学館は昭和 11 年に旧加賀藩前田家によって建てられた鎌倉の別荘を代表する建物です。鎌倉市では、歴史的な建造物の保存・活用や魅力的なまち並みの形成など、歴史的遺産と共生するまちづくりに取り組んでいます。



[連絡先]
鎌倉市都市景観部都市景観課
TEL 0467-61-3465
URL <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>
鎌倉文学館

村上市

北越後の城下町として発展した村上市街地に寛永 10 (1633) 年から継承されてきた村上祭。三基の「神輿」とともに 14 騎の「荒馬」や見事な彫刻と朱塗を主体として金箔や色漆が施された 19 台の「屋台」等が村上市城下の旧町人町内を巡行する姿は圧巻です。また、2018 年には荒馬や屋台等の巡行を「村上祭の屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。



[連絡先]
村上市都市計画課
TEL 0254-53-2111
URL <http://www.city.murakami.lg.jp/>
国指定重要無形民俗文化財
村上祭の屋台行事

甘楽町

楽山園は、江戸時代初期に織田氏によって造られた小幡藩邸の庭園です。平成 12 年の国名勝指定から 12 年間の整備を行い、現在では春のお茶会や夏には蛍の鑑賞会、また秋はお月見会やかんら薪能などを開催し、来訪者に楽しめる庭園になっています。



[連絡先]
甘楽町役場 建設課
都市計画係
TEL 0274-64-8322
URL <https://www.town.kanra.lg.jp/>
県内唯一の大名庭園「楽山園」

横浜市

横浜市では、歴史的建造物を積極的に保全活用し、都市の魅力の一つとするため、「歴史を生かしたまちづくり」事業に取り組んでいます。その結果、近代建築や古民家等が地域の歴史的景観を形成しています。赤レンガ倉庫は、横浜の開港や産業の歴史を象徴する代表的な歴史的建造物であり、様々な利活用が行われています。



[連絡先]
横浜市都市整備局企画課
都市デザイン室
TEL 045-671-2023
URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/>
赤レンガ倉庫

小田原市

小田原城下には、歴代の城主・藩主たちが帰依した松原神社や大稲荷神社、居神神社が鎮座します。三社の例大祭は 5 月 3 日～5 日の間に行われ、揺らさず走るなどを特徴とする神輿渡御「小田原担ぎ」や、「小田原囃子」、「木遣り」の音色に彩られます。



[連絡先]
小田原市都市部
都市政策課
TEL 0465-33-1754
URL <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/>
松原神社例大祭

佐渡市

佐渡市には、金銀山に関連する遺跡や社寺等をはじめとした多くの歴史的建造物が現存し、民俗芸能や年中行事、伝統産業などの歴史と文化を反映した活動が広く行われています。善知鳥神社の祭礼は、1643 年から行われたとされる歴史ある伝統行事です。また、2024 年には、「佐渡島(さど)の金山」が、ユネスコの世界文化遺産に登録され、この遺跡を未来に継承するための取組みが進められています。



[連絡先]
佐渡市世界遺産課
TEL 0259-63-5136
URL <https://www.city.sado.niigata.jp/site/mine/>
善知鳥神社祭礼

金沢市

歴史的なまちなみが残る茶屋街(東山ひがし、主計町)と寺院群(卯辰山麓、寺町台)が重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、また、藩政期から金沢のまちには、用水が網の目のように流れ、まちなみに様々な表情を醸しだし、潤いとやすらぎを与えています。



[連絡先]
金沢市文化スポーツ局
歴史都市推進課
TEL 076-220-2208
URL <https://www4.city.kanazawa.lg.jp/>
大野庄用水(長町武家屋敷跡)

千曲市

千曲市稲荷山地区は、江戸時代に善光寺道の宿場町として発展し、幕末から近代にかけて物資の中継地である「商都」として繁栄し国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。祇園祭は江戸時代中期に始まったとされ、7 月中旬の 3 日間盛大に執り行われ、勇壮な祭りや歴史的な町なみが一体となり、当時の賑わいを今日に伝えています。



[連絡先]
千曲市建設部都市計画課
TEL 026-273-1111
URL <https://www.city.chikuma.lg.jp/>
商都稲荷山と祇園祭

南木曾町

南木曾町は集落全体を保存し国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「妻籠宿」をはじめ、国指定史跡の歴史の道「中山道」、国の重要文化財に指定されている「桃介橋」など、数多くの歴史的遺産が点在しています。また、田立の花馬祭り、田立歌舞伎などの無形文化財についても、保存団体により後世に受け継ぐ努力が続けられています。



[連絡先]
南木曾町教育委員会事務局
TEL 0264-57-3335
URL <http://www.town.nagiso.nagano.jp/>
「妻籠宿」の町並

美濃市

美濃市は 1300 年の伝統を誇る「美濃和紙」と江戸時代に築かれた伝統的な建造物が多く残る「うだつの上がる町並み」で知られる歴史的景観と伝統的文化が息づくまちです。毎年 4 月に行われる「美濃まつり」ではさくら色に染まった和紙で飾り付けられたみこしが練りまわり、歴史的な町並みを華やかに彩ります。



[連絡先]
美濃市建設部都市整備課
都市計画係
TEL 0575-33-1122
URL <http://www.city.mino.gifu.jp>
美濃まつり 花みこし

中部ブロック

長野市

古くから多くの参拝者が訪れる善光寺とその門前町、真田十萬石の城下町として発展した松代、山岳信仰の聖地であり重要伝統的建造物群保存地区に選定された戸隠など、歴史的特色を持つ地域が数多くあります。

長い歴史に根差した特色ある祭礼やまちなみは、今も暮らしの中に受け継がれています。



[連絡先]
長野市都市整備部まちづくり課
歴史的まちなみ整備室
TEL 026-224-8779
URL <https://www.city.nagano.nagano.jp/>
戸隠神社式年大祭

松本市

旧開智学校校舎は明治 9 年に棟梁大工立石清重が最新の洋風建築を模範とし、伝統技術を駆使して建設した学校建築です。建設にあたっては工事費の約 7 割が住民からの寄付によって賄われ、昭和 38 年まで約 90 年にわたり校舎として使用されました。令和元年に近代の学校建築として初めての国宝指定となりました。



[連絡先]
松本市総合戦略局
中心市街地活性化本部
TEL 0263-34-3276
URL <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/>
旧開智学校校舎

郡上市

郡上おどりは、毎年 7 月中旬から 9 月上旬にかけて、約 30 夜にわたって開催される近世から継承されてきた盆踊りです。踊りの日と会場は、各町内の祭祀や由緒などに由来する縁日踊りであり、特に盂蘭盆会の徹夜踊りは盛況を極めます。伝承曲は 10 曲あり、国重要無形民俗文化財及びユネスコ無形文化遺産「風流踊」のひとつとして登録されています。



[連絡先]
郡上市建設部都市住宅課
TEL 0575-67-1814
URL <https://www.city.gujo.gifu.jp/>
郡上八幡旧庁舎記念館(旧八幡町役場)と郡上おどり

浜松市

浜松市は沿岸部や都市部、中山間地域といった多彩なフィールドを有する「国土縮図型都市」です。令和 4 年 3 月「浜松市歴史的風致維持向上計画」の認定や「家康公ゆかりの地」としての認知度を定着させ、市内の歴史文化資源の魅力発信に取り組みます。



[連絡先]
浜松市都市整備部都市計画課
TEL 053-457-2644
URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>
舞坂宿脇本陣

犬山市

犬山市は古くから交通や物流の要所として栄えてきました。戦国時代には戦いの舞台となり、また江戸時代には城下町として発展を遂げました。現在も「総構え」と呼ばれる当時の町割りがそのまま残っています。国宝犬山城天守はそんな町の移り変わりを見守り続けています。



[連絡先]
犬山市教育部
歴史まちづくり課
TEL 0568-44-0354
URL <https://www.city.inuyama.aichi.jp/>
国宝犬山城天守

近畿ブロック

彦根市は、彦根藩の城下町として栄え、現在に至るまで歴史文化の風情を色濃くとどめているとともに、国宝に指定されている「彦根城天守、附櫓及び多聞櫓」をはじめ、中世から近世にかけての貴重な歴史的文化遺産が数多く残っています。



[連絡先]
彦根市観光文化戦略部
文化財課
TEL 0749-26-5833
URL <https://www.city.hikone.lg.jp/>
国宝彦根城天守と名勝玄宮楽々園

宇治市

宇治には、山紫水明の宇治川周辺に魅せられて訪れる人々の往来と、平安貴族の信仰と感性が生み出した優れた文化遺産、宇治茶の生産と茶に関わる様々な文化的活動、そして伝統的な祭礼行事が一体となって受け継がれ、美しく趣のある景観が伝えられています。



[連絡先]
宇治市都市整備部
歴史まちづくり推進課
TEL 0774-21-1602
URL <https://www.city.uji.kyoto.jp/>
宇治橋三の間からの名水汲み上げの儀

湯浅町

湯浅町では、昔ながらの製法で醤油醸造を行っています。原則寒い冬に仕込みを行い、酵素や菌が活発になる春から発酵を促します。蔵に住み着いた蔵付き酵母が降り注ぎ美味しく諸味を発酵させ、1年程度かけゆっくり熟成させることで旨味が濃厚でまろやかな醤油を育てます。



[連絡先]
湯浅町教育委員会
歴史文化財係
TEL 0737-64-1128
URL https://www.town.yuasa.wakayama.jp
今に受け継ぐ醤油醸造

名古屋市

名古屋市では重要伝統的建造物群保存地区に選定され、さらに日本遺産にも認定された有松地区の歴史的景観の保全に取り組んでいます。藍で染められた絞り暖簾が風に揺れる古い商家の町並み「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの景観が今も静かに広がっています。



[連絡先]
名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部歴史まちづくり推進課
TEL 052-972-2779
URL <https://www.city.nagoya.jp/>
有松絞りまつり

京都市

京都市では、一年を通して様々な祭礼が営まれており、祇園祭は京都三大祭り（葵祭、祇園祭、時代祭）のひとつです。大船鉦は、平成26年に約150年ぶりに復興、祇園祭の山鉦巡行への参加が実現しました。大船鉦町会所も約140年ぶりに再生し、ハレの日の舞台を演出しています。



[連絡先]
京都市都市計画局都市景観部
景観政策課
TEL 075-222-3397
URL <https://www.city.kyoto.lg.jp/>
祇園祭大船鉦

奈良市

奈良市の旧市街地である奈良町は、中世以降「寺社のまち」「商工業のまち」「観光のまち」として発展してきました。社寺や町家などの歴史的建造物やそこで営まれる伝統行事が今なお人々の生活の中に息づき、日常の中に歴史、文化が溶け込んでいます。



[連絡先]
奈良市都市整備部
都市計画課景観係
TEL 0742-34-5209
URL <https://www.city.nara.lg.jp/>
奈良町の町並み

広川町

広川町には見上げる程の土盛りの堤防があり、堤防に添う町並みは、豪快な木造三階建の楼閣がそびえ、重厚な瓦屋根、漆喰や船板の外壁が印象的な町家が高台に延びる通りや小路に面して軒を連ね、避難を意識した町が築かれています。



[連絡先]
広川町企画政策課
TEL 0737-63-1122
URL <https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/>
木造三階建の楼閣（御風桜）

中国・四国ブロック

松江市

松江市は、宍道湖や北部の北山山系の山並みといった美しい自然景観、江戸時代から引き継がれる当時の城下町風情や、山陰の中核都市として発展してきた都市的景観など様々な景観資源を有しています。松江市街の中心部にある松江城は、平成24年に再発見された2枚の祈祷札から松江城の築城時期が明らかとなり、その他の調査研究による松江城独自の構法などの価値を認められ、平成27年7月8日に天守が国宝に指定されました。



[連絡先]
松江市まちづくり部
建築審査課景観指導係
TEL 0852-55-5387
URL <http://www.city.matsue.shimane.jp/>
松江城

高梁市

令和2年6月、吹屋（成羽町）の弁柄と銅の歴史にまつわるストーリーが、「ジャパンレッド発祥の地」として日本遺産に認定されました。かつて国内屈指の弁柄と銅の生産で繁栄した鉾山町・吹屋は、特徴的な赤い町並みと、弁柄工場跡や銅山跡などが独特な景観を醸し出しています。



[連絡先]
高梁市産業経済部観光課
日本遺産・歴まち推進係
Tel 0866-21-0257
URL <http://www.city.takahashi.lg.jp/>
備中吹屋の町並み

竹原市

竹原市には、江戸時代に製塩業などで栄えた歴史的な町並みがあり、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。子供たちに竹原市の歴史に興味をもってもらうため、「たけはら歴史体験講座」を開催し、文化財の修理体験や町並み見学・歴史講座を開催しています。



[連絡先]
竹原市教育委員会
文化生涯学習課
TEL 0846-22-2328
URL <https://www.city.takehara.lg.jp/>
たけはら歴史体験講座

三好市

三好市は、四国のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝として、また県西部での社会、経済、文化、観光の中心として発展してきました。大歩危峽や四国第二の高峰・剣山といった豊かな自然や平家伝説が残る祖谷の蔓橋など、歴史、文化、伝統に育まれたまちです。



[連絡先]
三好市教育委員会社会教育課
文化財係
TEL 0883-72-3900
URL <http://www.city-miyoshi.jp/>
落合集落

津山市

津山市は津山城跡を中心に東西に町人地、職人町、寺町などの城下町が形成されており、城東地区では江戸時代の町家群が立ち並び、城西地区には寺社群や近代建築物が多く残っています。毎年秋には「津山まつり（大隅神社、徳守神社、高野神社の秋祭りの総称）」が開催され、県指定文化財である色鮮やかなだんじりが町を練り歩く姿は圧巻です。



[連絡先]
津山市観光文化部
文化課(文化財保護・活用係)
TEL 0868-32-7000
URL <https://www.city.tsuyama.lg.jp/>
津山まつりのだんじり

倉敷市

倉敷美観地区は、広大な干拓地の富を背景に生まれた江戸期の白壁商家群の中に、近代以降、紡績により町を牽引した人々が建てた洋風建築が発展のシンボルとして風景にアクセントを加え、訪れる人々を魅了しています。また、夜間照明やライトアップイベントにより、夜間は日中と異なる魅力があります。



[連絡先]
倉敷市建設局都市計画部
都市計画課都市景観室
TEL 086-426-3494
URL <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/>
倉敷春宵あかり

萩市

萩市は江戸時代の古地図が今も使えるまちといわれており、文化や歴史などに関する有形・無形の貴重な“おたから”が広く存在しています。そのため、まち全体を屋根のない博物館としてとらえ、おたからを保存・継承・活用するまちづくりの取組「萩まちじゅう博物館」を市民・事業者・行政が協働で取り組んでいます。



[連絡先]
萩市商工観光部
まちじゅう博物館推進課
TEL 0838-25-3290
URL <https://www.city.hagi.lg.jp/site/machihaku/>
萩城下町と伝統行事の風景

内子町

愛媛県・内子町は江戸期頃から小田川の水運を活かした製紙業、製蠟業、林業等で栄えた町です。中心部には八日市護国歴史的建造物群保存地区や内子座があり、町家と併せて歴史的な空間を形成しているほか、周辺地域には棚田や屋根付き橋、堰など、暮らしに根付いた特色ある地域文化が点在。そこで受け継がれる営みは、そのまま町の魅力となっています。



[連絡先]
内子町町並・地域振興課
TEL 0893-44-2118
URL <https://www.town.uchiko.ehime.jp/>
八日市護国地区の観月会

佐川町

高知県の中西部にある四国山地の支脈に抱かれた盆地の街佐川町。藩政時代、藩主山内家の筆頭家老、深尾氏が城下町として築き上げ、栄えてきました。町のあちこちに時代の息吹が感じられる場所が残されており、伝統的な商家や酒蔵の街並みなどを楽しむことができます。また、町の中心部には、世界的な植物学者牧野富太郎博士にゆかりのある牧野公園があり、春の桜だけでなく、四季折々の山野草を楽しむことができます。



[連絡先]
佐川町役場まちづくり推進課
TEL 0889-22-7740
URL <https://www.town.sakawa.lg.jp/>

牧野富太郎博士がこよなく愛した花・バイカオウレン

宗像市

世界遺産の地 宗像は、美しい海と緑の景観に恵まれた古代文化の街です。地域の歴史と伝統を反映した祭事や風趣ある建造物が点在。宗像大社の「みあれ祭」は、日本神話に登場する宗像三女神が「辺津宮」に年に一度集う神事で、百隻余の船団による海上神幸は壮観です。



[連絡先]
宗像市都市再生部都市計画課
TEL 0940-36-1484
URL <https://www.city.munakata.lg.jp>

みあれ祭

日南市

飢肥藩伊東家5万1千石の城下町飢肥は桃山期以降に形成され、武家町として九州・沖縄地区で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。明治の外交官小村寿太郎を輩出した文教の町でもあり、藩政の中心として栄えました。飢肥は江戸時代の地割がほぼそのまま残されており、通りに面して築かれた石垣からは往時を偲ぶことができます。



[連絡先]
日南市教育委員会
生涯学習課
TEL 0987-31-1145
URL <http://www.city.nichinan.lg.jp>

飢肥城 大手門前

九州・沖縄ブロック

太宰府市

太宰府市はおよそ1350年前に「大宰府」が置かれ、以来、「遠の朝廷」として九州を管轄し、外交の窓口であり対外防備の前線でした。現在は福岡都市圏にあり、太宰府天満宮や大宰府政庁跡などの歴史と自然が豊かな住宅都市として、毎年多くの人々が訪れています。



[連絡先]
太宰府市都市整備部都市計画課
TEL 092-921-2121
URL <https://www.city.dazaifu.lg.jp/>

大宰府政庁跡

長崎市

幕末に外国人居留地が開かれた東山手・南山手地区は、当時の地割と洋風建築がよく遺り、異国情緒が感じられます。「長崎の歴史文化を生かした夜景まちづくり」が令和5年度に都市景観大賞を受賞！世界遺産の大浦天主堂などの歴史的建造物や、オランダ坂、祈念坂及びびどんどん坂など長崎らしい坂みちも回遊路としてライトアップしています。



[連絡先]
長崎市まちづくり部
景観推進室
TEL 095-829-1177
URL <https://www.city.nagasaki.lg.jp/>

祈念坂

那覇市

那覇市は、亜熱帯特有の自然や歴史、文化環境に調和した「亜熱帯庭園都市」の景観を有する都市です。首里城の南側、首里台地の斜面に位置する首里金城町は、赤瓦屋根や琉球石灰岩の石積みなどにより、琉球王府時代の美しい佇まいを今に伝える地域です。



[連絡先]
那覇市都市みらい部
都市計画課 都市デザイン室
TEL 098-951-3246
URL <https://www.city.naha.okinawa.jp/>

那覇市首里金城町

第51回 歴史的景観都市協議会総会

多賀城市大会

日時：令和6年11月7日・8日

場所：宮城県多賀城市

－第1日目－

【基調講演】

- ① 文化庁 文化資源活用課 池野 浩幸 課長補佐
「文化庁の支援等」
- ② 農林水産省 農村振興局 農村政策部
農村計画課 稲生 和久 係長
「農林水産省における歴史的風致維持向上に関する取組」
- ③ 国土交通省 都市局
公園緑地・景観課 沖本 俊太郎 室長
「歴史まちづくりの最近の話題」

【記念パネルディスカッション】

歴史的景観を後世に継承するまちづくり

－第2日目－

【現地視察】

国宝多賀城碑、多賀城南門、城前官衙、政庁跡



総会の様子



記念パネルディスカッションの様子



現地視察の様子



第50回総会記念誌
(歴史的景観都市協議会 活動のあゆみ)

※ 記念誌の配付を御希望の方は、京都市まで御連絡下さい。(連絡先：裏表紙)

歴史的景観都市協議会への加入のお誘い

私たちと一緒に、歴史的景観行政の現状と課題についての情報交換等を行いませんか。

主な取組：総会等を通じた、歴史的景観行政の現状と課題についての情報交換や国・関係機関への要望活動

負担金：50,000円/年



国への要望活動の様子



情報交換会の様子

協議会総会開催都市

- | | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 第 1 回 (1973 年) 京都市大会 | 第 18 回 (1990 年) 奈良市大会 | 第 35 回 (2007 年) 小樽市大会 |
| 第 2 回 (1974 年) 松江市大会 | 第 19 回 (1991 年) 弘前市大会 | 第 36 回 (2008 年) 金沢市大会 |
| 第 3 回 (1975 年) 倉敷市大会 | 第 20 回 (1992 年) 鎌倉市大会 | 第 37 回 (2009 年) 亀山市大会 |
| 第 4 回 (1976 年) 金沢市大会 | 第 21 回 (1993 年) 津山市大会 | 第 38 回 (2010 年) 奈良市大会 |
| 第 5 回 (1977 年) 南木曾町大会 | 第 22 回 (1994 年) 京都市大会 | 第 39 回 (2011 年) 日南市大会 |
| 第 6 回 (1978 年) 長崎市大会 | 第 23 回 (1995 年) 角館町大会 | 第 40 回 (2012 年) 佐渡市大会 |
| 第 7 回 (1979 年) 内子町大会 | 第 24 回 (1996 年) 佐倉市大会 | 第 41 回 (2013 年) 高山市大会 |
| 第 8 回 (1980 年) 神戸市大会 | 第 25 回 (1997 年) 関町大会 | 第 42 回 (2014 年) 宇治市大会 |
| 第 9 回 (1981 年) 白川村大会 | 第 26 回 (1998 年) 彦根市大会 | 第 43 回 (2015 年) 高梁市大会 |
| 第 10 回 (1982 年) 盛岡市大会 | 第 27 回 (1999 年) 岡山市大会 | 第 44 回 (2016 年) 長崎市大会 |
| 第 11 回 (1983 年) 日南市大会 | 第 28 回 (2000 年) 有田町大会 | 第 45 回 (2017 年) 鶴岡市大会 |
| 第 12 回 (1984 年) 横浜市大会 | 第 29 回 (2001 年) 下郷町大会 | 第 46 回 (2018 年) 犬山市大会 |
| 第 13 回 (1985 年) 高山市大会 | 第 30 回 (2002 年) 川越市大会 | 第 47 回 (2019 年) 長浜市大会 |
| 第 14 回 (1986 年) 名古屋市大会 | 第 31 回 (2003 年) 美濃市大会 | 第 48 回 (2021 年) オンライン |
| 第 15 回 (1987 年) 函館市大会 | 第 32 回 (2004 年) 篠山市大会 | 第 49 回 (2022 年) 三好市大会 |
| 第 16 回 (1988 年) 津州市大会 | 第 33 回 (2005 年) 柳井市大会 | 第 50 回 (2023 年) 小田原市大会 |
| 第 17 回 (1989 年) 那覇市大会 | 第 34 回 (2006 年) 臼杵市大会 | 第 51 回 (2024 年) 多賀城市大会 |



松本市 史跡松本城

歴史的景観都市協議会

会長都市 京都市

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る

上本能寺前町 488 番地

京都市都市計画局都市景観部景観政策課

電話：075-222-3397 FAX：075-213-0461

発行：令和 7 年 10 月

表紙：多賀城市 (2024 年 第 51 回総会開催都市)

裏表紙：松本市 (2025 年 第 52 回総会開催都市)

松本城は戦国時代の永正元年(1504 年)に造られた深志城が始まりで、現存する五重六階の天守の中で日本最古の国宝の城です。現存の 12 城の多くは平山城ですが、松本城は平城で、天守を囲んで三重の水堀が巡っています。松本城とその城下町は、周囲から川の集まる扇状地に位置しており、豊富な地下水を利用しながら、城郭や城下町が形成されました。現在でも、歴史的な井戸や城下町の形成過程で作られた水路が残っており、日常生活で使用されています。城下町の歴史を今に伝える水は、水のせせらぎが聞こえる市街地環境と相まって歴史的風致を形成しています。